



令和3年度 茨城県優良図書紹介【高校生・勤労青少年向け】



『ハリネズミは月を見上げる』

あさのあつこ 著（新潮社刊）

高校生の主人公の家族や友達とのかかわりが丁寧に描かれた、主人公の成長を実感できる1冊。多様化した現代の人間関係の中で、正反対の二人が織りなす青春小説。



『沖晴くんの涙を殺して』 額賀滯 著（双葉社）

津波で家族を亡くし、「喜び」以外の感情を奪われた高校生、沖晴。余命1年の京香と出会い、彼女との信頼関係が深まるにつれて、徐々に感情を取り戻し、「普通」の少年になっていく。死ぬのが怖い京香と生きるのが怖い沖晴の切ない物語。



『お探し物は図書室まで』 青山美智子 著（ポプラ社）

「何をお探し？」司書の小町さんにそう尋ねられると本を探していた人たちが、自分の人生を探し始めることになる。人生は自分の思うとおりに行かないことばかりだけれど、小町さんに紹介された本を読むと不思議と人生が良い方向に動きだす。自分の探し物も見つけられそうな心温まる短編集。

『水を縫う』 寺地はるな 著 (集英社)



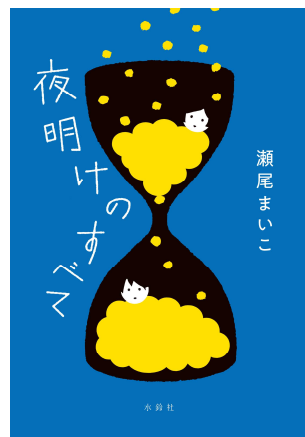
「男なのに」刺繍が好きな清澄は、「女なのに」かわいいものが苦手な姉の水青のためにウエディングドレスを作ることになった。世の中の「普通」を踏み越えて、自分らしく幸せを追求していく優しい人たちの、家族をテーマにした物語。

『オルタネート』 加藤シゲアキ 著 (新潮社刊)



高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」を巡り、自分らしく生きたいと心から願う若者たちが、恋愛とは、友情とは、家族とは、人と繋がるとはどういうことなのかを自分に問いかけながら生きる姿を描く、軽快な青春小説。

『夜明けのすべて』 瀬尾まいこ 著 (水鈴社)



月に一度のPMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、転職してきたばかりの山添君に当たってしまう。山添君はパニック障害になり、生きがいも気力も失っていた。互いに友情も恋も感じていないけれど、おせっかい者同士の二人は、自分の病気は治せなくても、相手を助けることはできるのではないかと思うようになる。生きるのが少し楽になる、心に優しい物語。

『どうぞ愛をお叫びください』 武田綾乃 著 (新潮社刊)



「どうぞ愛をお叫びください」は、YouTube にゲーム実況動画を投稿している4人グループ。全員が現役男子高校生であることを明言している。主に「愛ダサ」と略される。ゲーム好きもそうでない人も楽しめる、爽快度120%の最旬青春小説!